

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : デラクリーンカリH  
 (英文名) : DERACREANKARIH  
 会社名 : 三洋化成工業株式会社  
 (英文名) : Sanyo Chemical Industries, Ltd.  
 住所 : 京都市東山区一橋野本町11番地の1  
 担当部門 : 製品等審査部  
 緊急連絡電話番号 : (075) 541-4330  
 問合わせ電話番号 : (03) 5200-3478(営業業務部)  
 FAX番号 : (03) 3279-3139(営業業務部)  
 SDS No. : 053840105A

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

#### 物理化学的危険性

引火性液体 : 区分外

#### 健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 分類できない

急性毒性(経皮) : 分類できない

急性毒性(吸入:ガス) : 分類対象外

急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない

急性毒性(吸入:粉塵、ミスト) : 分類できない

皮膚腐食性/刺激性 : 区分1 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分1 重篤な眼の損傷

呼吸器感作性 : 分類できない

皮膚感作性 : 分類できない

生殖細胞変異原性 : 区分2 遺伝性疾患のおそれの疑い

発がん性 : 分類できない

生殖毒性 : 分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分2 臓器の障害のおそれ  
(血液、呼吸器)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分2 長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害のおそれ  
(血液)

吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

#### 環境に対する有害性

水生環境有害性(急性) : 区分2 水生生物に毒性

水生環境有害性(長期間) : 区分2 長期継続的影響により水生生物に毒性

オゾン層への有害性 : 分類できない

ラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : ・重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷  
 ・遺伝性疾患のおそれの疑い  
 ・臓器の障害のおそれ  
 ・長期にわたる、又は反復暴露による臓器の障害のおそれ  
 ・長期継続的影響により水生生物に毒性

<取扱い注意>

- <安全対策> ・取扱う前に、「安全データシート」をよくお読みのうえ作業して下さい。  
 ・飲み込んだり、吸い込んだり、眼、皮膚に触れないようにし、取扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスクなどの適切な保護具を着用して下さい。  
 ・取扱い後は、手、顔などをよく洗い、うがいをして下さい。  
 ・環境への放出を避けて下さい。
- <救急処置> ・飲み込んだ場合は口をすすいで下さい。無理に吐かせないで下さい。  
 ・吸入した場合は空気の新鮮な場所で、呼吸しやすい姿勢で休息させて下さい。  
 ・皮膚に付着した場合は多量の水と石鹼で洗って下さい。  
 ・眼に入った場合水で数分間注意深く洗って下さい。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して下さい。その後も洗浄を続けて下さい。  
 ・暴露または暴露の懸念がある場合は医師の診断／手当を受けて下さい。
- <保管> ・容器を密閉して換気の良い場所で保管して下さい。
- <廃棄> ・都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理して下さい。

3. 組成、成分情報 (含有量は代表値)

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名 : -

成分及び含有量	水酸化ナトリウム	5%
	次亜塩素酸ナトリウム	8%
	界面活性剤	6%
	水	77%
	添加剤	4%

化審法番号 : 「あり」または「対象外」

安衛法番号 : 「あり」または「対象外」

CAS No. : あり

危険有害成分及び不純物

	水酸化ナトリウム	5%未満
	アクリル酸重合物のナトリウム塩	2%

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに多量の水で洗い流し、速やかに医師の処置を受ける。完全に除去しないと、徐々に組織の深所に及ぶ恐れがある。
- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分間以上洗眼(まぶたの裏までよく洗う)した後、速やかに医師の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ1~2杯の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。無理に吐かせてはならない。被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。

腐食性物質を含むので吐き出させるとかえって危険を増す。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 二酸化炭素、粉末、泡、水噴霧  
 使ってはならない消火剤 : 棒状水  
 特定の消火方法 : 火元への燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消火する。  
 周囲の設備などに散水して冷却する。  
 消火を行う者の保護 : 消火活動は、可能な限り風上から行い有毒なガスの吸入を避ける。  
 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 漏出防止、除害などの作業は、必ず、保護具(不浸透性保護手袋、ゴーグル型保護眼鏡)を着用する。  
 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川などに排出され、環境への影響を起ささないように注意する。  
 回収、中和、封じ込め及び浄化の方法・機材  
 : 土砂等の不燃物で囲い流出を防止した後、亜硫酸ソーダを加えて、次亜塩素酸ソーダを分解し、続いて酸(希塩酸等)で中和する。  
 分解中和剤の例:本品1kgに対して必要な無水亜硫酸ソーダ0.03kg、必要な酸は12規定塩酸として70~80ml。  
 中和後の漏出物は、空容器(ポリ容器等耐アルカリ性のもの)に回収する。  
 回収物の収納容器は「廃棄上の注意」の記載内容に従って廃棄する。  
 回収後の床は、多量の水で洗い流す。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い  
 技術的対策 : 作業場の換気を十分に行い、保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用し、直接の接触を防ぐ。  
 局所排気・全体換気 : 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。  
 注意事項 : 強酸化剤との接触は避ける。  
 火気を近づけない。  
 酸性物質と混ぜると塩素ガスが発生するので注意する。  
 緊急時に備えて、十分な数の保護具、十分な量の中和剤を常備する。  
 蒸気またはヒュームやミストを吸入しないようにする。  
 安全取扱い注意事項 : 取扱い後は、手、顔などをよく洗い、うがいをする。  
 保管  
 適切な保管条件 : 通気の良い場所で密栓保管する。  
 包装容器材料 : 製品使用容器に準ずる。

## 8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 蒸気、粉塵またはヒューム、ミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。  
 強アルカリ性を呈するため、耐アルカリ耐腐食性容器、機器を使用する。  
 取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。  
 管理濃度 : 設定されていない  
 許容濃度  
 日本産業衛生学会 : (最大値)2mg/m<sup>3</sup>(水酸化ナトリウム) (1)  
 ACGIH : (最大値)2mg/m<sup>3</sup>(Sodium hydroxide) (2)  
 保護具  
 呼吸器用の保護具 : 通常の作業の場合は特に必要なし(必要に応じてアルカリ用防毒マスク)  
 手の保護具 : 不浸透性、耐アルカリ性保護手袋

目の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡または全面保護眼鏡  
 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣、長靴、ゴム前掛け

9. 物理的及び化学的性質 (代表値)

物理的状态

形状 : 液状  
 色 : 黄色  
 臭い : 特異臭  
 pH : 12.3(製品の1%水希釈液)

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点 : データなし  
 凝固点 : -20°C  
 引火点 : 引火せず(水が沸騰する)(COC)  
 発火点 : データなし

爆発特性

爆発限界 : データなし  
 比重 : 1.20(20°C)

溶解性

溶媒に対する溶解性 水… 可溶  
 粘度 : 5mPa·s(25°C)  
 蒸気圧 : データなし  
 分解温度 : データなし  
 n-オクタノール/水分配係数 : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の手扱い条件においては、光、熱、衝撃に対して化学的に安定。

危険有害反応性の可能性

: 強酸化剤とは反応して危険。  
 酸性物質との混合により塩素ガスを発生する。

避けるべき条件 : データなし

混触危険物質 : 強酸化剤、酸性物質

危険有害な分解生成物

: 塩素ガス

その他 : データなし

11. 有害性情報 (本品または成分の情報およびその類似品の情報)

急性毒性(経口) : 分類できない  
 データなし

急性毒性(経皮) : 分類できない  
 データなし

急性毒性(吸入:ガス) : 分類対象外  
 GHSの定義におけるガスではない。

急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない  
 データなし

急性毒性(吸入:粉塵、ミスト) : 分類できない  
 データなし

皮膚腐食性/刺激性 : 区分1  
 pH11.5以上であり、腐食性があると考えられる。(区分1)

眼に対する重篤な損傷/眼刺激 : 区分1

	pH11.5以上であり、腐食性があると考えられる。(区分1)	
呼吸器感作性	: 分類できない データなし	
皮膚感作性	: 分類できない データなし	
生殖細胞変異原性	: 区分2 水酸化ナトリウム 区分外 (3) 添加剤 区分2 (3)	
発がん性	: 分類できない	
産業衛生学会	: 本品の構成成分は、発がん性物質としてリストアップされていない。	(1)
IARC	: 本品の構成成分は、IARCモノグラフにランクアップされていない。	(4)
生殖毒性	: 分類できない データなし	
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 区分2(血液、呼吸器) 水酸化ナトリウム 区分1(呼吸器) (3) 添加剤 区分1(血液) (3) 次亜塩素酸ナトリウム 区分3(気道刺激性) (3)	
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 区分2(血液) 添加剤 区分1(血液) (3) 次亜塩素酸ナトリウム 区分2(全身毒性) (3)	
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない データなし	

12. 環境影響情報 (本品または成分の情報およびその類似品の情報)

水生環境有害性(急性)	: 区分2 水酸化ナトリウム 区分3 (3) 添加剤 区分外 (3) 次亜塩素酸ナトリウム 区分1 (3)	
生態毒性	: データなし	
水生環境有害性(長期間)	: 区分2 水酸化ナトリウム 区分外 (3) 添加剤 区分外 (3) 次亜塩素酸ナトリウム 区分1 (3)	
残留性/分解性	: データなし	
生体蓄積性	: データなし	
土壤中の移動性	: データなし	
その他の有害性	: データなし	
オゾン層への有害性	: 分類できない データなし	

13. 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制	: 航空輸送はICAO/IATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。
国連分類	: クラス8(腐食性物質)
国連番号	: 1760(その他の腐食性物質(液体)(他の危険性を有しないもの))
海洋汚染物質	: 該当
国内規制	: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
輸送の特定の安全対策及び条件	: 運搬に際しては、容器の漏れのないこと及び所定の表示のあることを確かめ、転倒、

落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

緊急時応急措置指針番号

: 154

## 15. 適用法令

化審法	: 特定化学物質	: 該当せず
	: 監視化学物質	: 該当せず
	: 優先評価化学物質	: アクリル酸重合物のナトリウム塩
労働安全衛生法	: 特化則	: 該当せず
	: 有機則	: 該当せず
	: 表示物質(法57条の関係)	: 水酸化ナトリウム
	: 通知対象物(法57条の2の関係)	: 水酸化ナトリウム(5%未満含有)
	: 指針・通達物質(既存変異原化学物質等)	: 該当せず
	: 通達による表示物質	: 該当せず
	: 危険物	: 該当せず
	: 安衛則326条の関係	: 腐食性液体
化学物質管理促進法(PRTR法)	: 特定第一種指定化学物質	: 該当せず
	: 第一種指定化学物質	: 該当せず
	: 第二種指定化学物質	: 該当せず
消防法	: 危険物	: 該当せず
	: 指定可燃物	: 該当せず
毒物及び劇物取締法	: 毒物、劇物	: 該当せず
危険物船舶運送及び貯蔵規則	: 危険物	: 等級8「腐食性物質」
輸出貿易管理令	: 規制物質	: 該当せず
薬事法	: 日本薬局方	: 該当せず

## 16. その他の情報

- (1)「産業衛生学雑誌」(2014/9)(日本産業衛生学会)
- (2)「TLVs and BEIs」(2014)(ACGIH)
- (3)独立行政法人 製品評価技術基盤機構 GHS分類結果データベース
- (4)「化学物質の発がん性評価とその分類基準(第7版)」(2007)(JETOC)

\* この情報は新しい知見に基づき改訂されることがあります。

\* ここに記載された情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性がありうるため、取扱いには細心の注意が必要です。本品の適性に関する決定は使用者の責任において行ってください。

記載内容の問い合わせ先

会社 : 三洋化成工業株式会社

担当部門 : 担当営業課